アクセス

■ 市電
「中郡電停」下車
（徒歩３分）

■ JR
指宿枕崎線「郡元駅」下車
（徒歩７分）
鹿児島本線「鹿児島中央駅」下車
市電「中郡電停」下車（11 分）
（徒歩３分）

■ 市営バス
（鹿児島中央駅経由）
11 番線（鴨池・冷水線）
20 番線（緑ヶ丘・鴨池港線）
「法文学部前」下車
（徒歩５分）

■ 鹿児島交通バス
（鹿児島中央駅経由）
18 番線（大学病院線）
19 番線（紫原・桜ヶ丘団地線）
「附属小学校前」下車
（徒歩１分）

■ 南国交通バス
（鹿児島中央駅経由）
N30 番線（県庁西・鴨池新町方面）
「附属小学校前」下車
（徒歩１分）

N39 番線（武岡・鴨池港線）
「附属小学校前」下車
（徒歩１分）

入学に関するお問い合わせ

鹿児島大学教育学部附属小学校
〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目 20 番 15 号
TEL　099-285-7962
FAX　099-285-7983
HP　https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/eschool/

学校紹介

国立大学法人
鹿児島大学教育学部附属小学校
Elementary school Attached to Faculty of Education,Kagoshima University

鹿児島大学教育学部附属小学校

学校長あいさつ

假屋園　昭彦

本校の学校教育目標は，「夢や目標をもち，共にみがき高め合う子どもの育成」です。この学校目標には，「夢や目標の実現に向けて，これまでに学んできたことを生かして，友達と試行錯誤を繰り返しながら，よりよい自分の実現に向けて，高め続けていく子ども」を育成したいという教師・児童・保護者の思いが込められています。

このような目指す子ども像の実現に向けて，本校では，長い歴史の中で受け継がれてきた教育活動を大切にしながら，近年では，時代の変化に対応した教育活動も先進的に取り入れることに努めています。

伝統を大切にした活動としては，「体験活動の充実」が挙げられます。遠足や宿泊学習，修学旅行などの学校行事や生活科や総合的な学習の時間などの授業の中で，様々な「ひと・もの・こと」との体験ができるように工夫を図っています。このような体験活動の充実を図ることで，友達と協力して，やり遂げる喜びを味わうことができるようにしています。

時代のニーズに応じた活動としては，「情報教育の充実」が挙げられます。プログラミング教育を低学年から行ったり，一人一台のタブレットの活用も推進したりしていきます。このような情報教育の充実を図ることで，筋道を立てて考えたり，自分の課題に応じて ICT を活用したりすることができるようにしていきます。

このように，本校では，「伝統」「最先端の教育」という２つの大きな柱を大切にし，鹿児島大学との連携を深めながら，知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努めております。校内には，子どもたちと教師の声が響き合い，活気に満ち溢れています。ぜひ，お子様の６年間という大切な時間を本校に託していただけないでしょうか。そして，共に子どもたちの健やかな成長のために，教育について語っていきましょう。

御入学をお待ちしております。

学校教育目標

夢や目標をもち，共にみがき高め合う子どもの育成

Reach for the Stars Together!

【校　訓】

まことの子　**ちからの子**　**のぞみの子**

めざす子どもの姿

まなび合う子ども …… 目的や目標を確かにもち，互いの考えに学び合う子ども

きたえ合う子ども …… 最後までねばり強く取り組み，心と体をきたえ合う子ども

ひびき合う子ども …… 自分のよさや相手のよさを捉え，心と心がひびき合う子ども

学校紹介

- 1875　小学校授業講習所
- 1876　鹿児島師範学校
- 1878　仮師範学校附属小学校
- 1887　鹿児島尋常師範学校附属小学校
- 1898　鹿児島県師範学校附属小学校
- 1910　鹿児島県師範学校附属小学校　鹿児島女子師範学校附属小学校
- 1920　鹿児島県第一師範学校附属小学校
- 1934　鹿児島県師範学校附属小学校
- 1943　鹿児島師範学校男子部附属国民学校及び同女子部附属国民学校
- 1949　鹿児島大学教育学部附属小学校
- 2004　国立大学法人鹿児島大学教育学部附属小学校
- 2028　創立百五十周年記念式典挙行予定

「我は海の子」

長らく作詞者不詳であったが，平成12年本校卒業の児童文学者「宮原晃一郎 氏」であることが判明。

昔の様子

師範学校附属小学校 1912

天覧授業（国語） 1935

師範学校附属小学校 1942

女子師範学校附属小学校 1942

鹿児島大学教育学部附属小学校 1978

附属小の特色ある教育活動

教育実習

毎年，鹿児島大学からの教育実習生を受け入れています。教育実習生は，実際に子どもたちに授業を行います。毎年，教育実習生の授業を行う姿は，子どもたちにとって，夢や目標に向かって頑張る大切さを伝え，かけがえのない思い出になるものとなっています。

公開研究会

毎年，日頃の学習の成果を発表する場として，公開研究会があります。この会には県内外から６００名を超える多くの先生方が参加し，授業の様子を参観します。各教科等の見方・考え方を働かせた深い学びの実現を目指して，子どもたちが学び合いを展開します。

自分探究クラブ

「自分探究クラブ」では，自分の興味があることや得意なことについて，とことん試したり，調べたりすることができます。３年生から６年生まで，探究したいことを自分で決めて，自分なりにいろいろな方法で調べたり，詳しい人に話を聞いたり，本やインターネットなどで調べたりしながら，解決していきます。

複式教育

複式Ⅰ組，Ⅱ組，Ⅲ組の３学級があります。１学級あたり上学年８名，下学年８名，計１６名が共に学んでいます。子どもたちがガイドやフォロワーの役割を担いながら学ぶことを通して，自ら学ぶ力が高まります。また，異学年同士で関わりながら生活することを通して，協力する力や自己有用感が高まります。

英語教育

低学年から高学年まで全ての授業で，本校教諭とALTの２名体制で授業を担当し，ゲーム活動を工夫しながら，意欲的に英語を学べる授業を展開しています。

ICT教育

一人一台の端末とクラウドツールを使って，協働的な学びを行っています。また，端末を家に持ち帰り，各自のペースで電子ドリルに取り組むなど個別最適な学習にも力を入れています。

視察の受け入れ

県内外から多くの研修視察を受け入れています。授業のつくり方や研究内容について意見交換を行い，質の高い授業づくりにつなげています。

台北との交流

台北教育大学の学生とインターネット通信を用いた交流を行っています。また，台北教育大学の実習生を受け入れ，日本と台湾の文化について学ぶ授業を行っています。

附属小学校の特色ある教育活動を実現するために，以下のような学校全体の仕組みづくりにも取り組んでいます。

午前中の５時間授業

全学年，午前中に5時間の授業を行っています。集中力が高い午前中に授業を行うことで，子どもの資質・能力がよりよく育まれる仕組みになっています。

令和４年度　週時程（通常校時）				
月	火	水	木	金
午前中に五時間授業	朝の会（10分）　８：15～			
	1校時			
	2校時			
	3校時			
	4校時			
	5校時　～12：35			
給食→昼休み→掃除				
6校時 ～14:45		下校完了 14:30	総合的な学習の時間（90分） 13:55～15:25	6校時 ～14:45
下校完了 15:15				下校完了 15:15
			下校完了 15:45	

２学期制

４月から10月上旬までを前期，10月中旬から３月までを後期とした２学期制を導入しています。前期と後期の間に秋休みがあります。３学期制を２学期制にすることで，始業式・終業式等の回数が少なくなり，その分を授業時間に充てることができます。

教科担任制

各教科等を専門に研究している職員が教科担任制で授業を行っています。各教科等の学ぶ意義や楽しさを感じられる授業づくりに努めています。

カリキュラムの充実 ～ひと・もの・こととの関わりの重視～

4年　宿泊学習

大運動会

5年　自然教室

音楽発表会

修学旅行は，長崎県と熊本県に２泊３日で行きます。学びが深まる旅行になっています。

6年　修学旅行

一日遠足

登山をしたり，レクリエーションをしたりして友達との仲を深めることができます。

写生会

親子ふれあい活動

標本・自由研究講習会

親子でふれ合ったり，学んだりする機会もたくさんあります。

部活動紹介

吹奏楽部

合唱部

陸上部

水泳部

令和３年度　本校児童の活躍〈主な受賞記録〉

国語科	「小さな親切」作文コンクール	優秀賞：１名　特選：３名
	かわなべ青の俳句大会	特選：１名
	新聞感想文コンクール	一席：１名
	鹿児島県小学校人権作文コンテスト	最優秀賞：１名
社会科	県社会科作品コンクール	最優秀賞：２名　優秀賞：４名　佳作：２名
算数科	県統計グラフコンクール	学校賞　特選：１名　入選：12 名　佳作：11 名
理　科	県理科に関する研究記録展	県知事賞，県議会議長賞：各1名　県教育委員会賞：２名
	県昆虫・貝・植物・岩石展	県教育委員会賞：１名　市長賞：１名　市議会議長賞：１名 南日本新聞社賞：１名　桜島・錦江湾ジオパーク賞：１名
生活科	全国小学生『未来』をつくるコンクール	優秀賞：１名
図画工作科	人権に関するポスターコンクール	入選：２名
	全国国立大学附属ＰＴＡ連合会絵画コンクール	特別賞：４名
	「夢のあるトラック」絵画コンクール	優秀賞：３名　　佳作：２名
情　報	南日本プログラミング大会	優秀賞：３名

互いの絆が深まる３年生から始まる登山など直接体験を重視したカリキュラムを組んでいます。

宿泊的行事では，友達のよさや，みんなでひとつにまとまることの大切さをあらためて感じることのできる貴重な体験をすることができます。

大運動会では，みんなが考えたスローガンの下，運動の楽しさを味わいながら，友達と協力することを通して，集団の一員としての自覚を深めることや個性の伸長を図ることができます。

音楽発表会は，１年交代で市内の大きなホールや体育館で行われます。音楽発表会を通して，音楽の素晴らしさを改めて感じたり，自分や友達のよさを見つけたりすることができます。

このように，ひと・もの・こととの関わりを重視した活動を多く取り入れています。

また，吹奏楽部，合唱部は，本校の職員と講師を招いて常時活動しています。陸上部，水泳部は，鹿児島市の大会に向けて時期的に活動しています。このように，個性を発揮することができる部活動を行っています。